



ログミーファイナンス
個人投資家向けIRセミナー

KLab株式会社（TSE: 3656）

代表取締役会長 真田 哲弥

スピーカー紹介

代表取締役社長

真田 哲弥

- ✓ 大学生時代から数々の起業を経験したリアルアントレプレナー
- ✓ (株)Accessにて、世界初のモバイルインターネットであるNTT DoCoMOの「iモード」開発に従事
- ✓ 株式会社サイバードのコファウンダーとして、当時史上最短でJASDAQ上場
- ✓ 世界初のモバイルソフトウェア会社としてKLab株式会社を創業
- ✓ 2018年～2024年は会長職、2025年3月より社長に復帰



業績概要

2026年度第1四半期 連結業績 (5/14 公表)

当社の事業基盤である10年選手のゲームタイトルは、健闘しつつも売上高は減少
一方で、昨年10月より参入したGPU AIサーバー事業も寄与し、売上高は前年同期比で増収
営業利益は、ゲーム事業の売上高の減少により赤字幅が拡大

連結経営成績	25/12 1Q 実績	26/12 1Q 実績	前年同期比
売上高	16.3億円	17.0億円	+4.3%
営業利益	▲2.8億円	▲4.5億円	-
経常利益	▲4.3億円	▲4.9億円	-
親会社株主に帰属する純利益	▲4.7億円	▲5.0億円	-

『ドラゴンクエストスマッシュグロウ』 サービス開始

(株)スクウェア・エニックスと共同開発※1した『DQスマグロ』が、4月21日に世界※2同時配信を開始
ダウンロードは1000万を突破しており、当社の業績回復に大いに寄与する見通し



※1 企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社（KLab） ※2 一部地域を除く

事業計画

2026年度 通期連結業績予想

売上高は約1.5倍に回復

営業利益は1Qの損失を吸収して黒字化、V字達成の見込み

連結売上高・利益	2025/12 実績	2026/12 予想	前期比
売上高	68.5億円	170.0億円	+147.9%
営業利益	▲13.0億円	10.0億円	黒字転換

- ✓ 新作タイトル『DQスマグロ※』は、セルラン上位を維持。さらにサービス内での多面的な収益機会の確保もあり、相当程度の業績貢献を見込む
- ✓ 当社全体で、アプリ外課金の比率が伸長

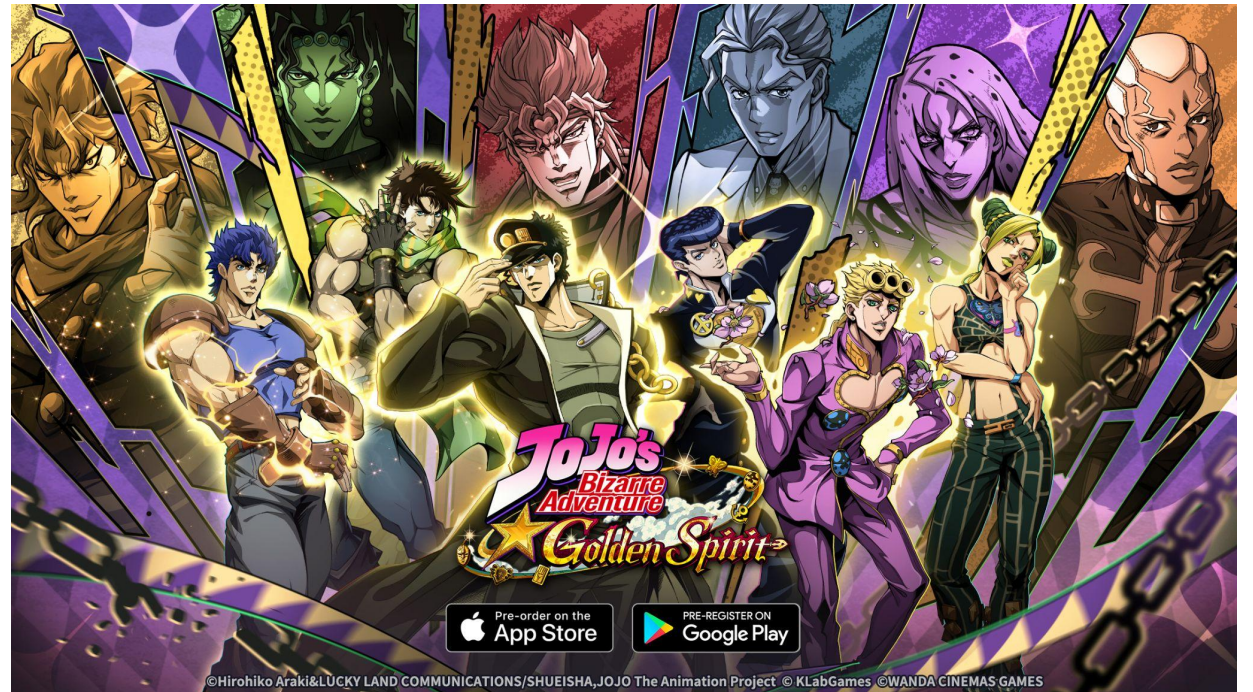
現在のパイプライン



僕のヒーローアカデミア UNITED SURVIVAL

(株)gumiと提携して開発中

2026年内に中国大陸を除く全世界向けに配信予定



JoJo's Bizarre Adventure: Golden Spirit

WANDA CINEMAS GAMESによるゲーム開発を支援

世界配信予定（※一部地域を除く） **事前登録実施中！**

中期経営計画 VISION2028

2028年 売上高 350億円 営業利益 50億円を目指す



2026

新作タイトルのリリースによる
黒字化&V字回復

🎮 ゲーム

新作タイトルのリリース
少数精鋭体制確立

👉 その他

新たな新規事業が続々登場
売上確保も先行的投資時期



2027

着実な成長

🎮 ゲーム

2本の新作タイトルが通年寄与し
近年における最高業績へ

👉 その他

いくつかの新規事業が
収益化フェーズへ



2028

過去最高の業績へ

🎮 ゲーム

新作の谷間 売上150億円

👉 その他

新規事業が開花 売上200億円

ゲーム事業の方針

国内は、動画・SNSシフトなどによる市場の頭打ち、開発費高騰、大手海外企業の参入等により、事業環境が悪化一方、世界規模では日本IPの人気は沸騰している。当社の強みであるIP獲得力と世界で売る力を活かす。開発面では、少数精鋭の体制にしなから、協業・共同開発でリスク分散を図り、今後も事業拡大を図っていく



S級日本IP

収益規模の最大化が期待できる「S級IP」のみを開発対象に。



世界配信

少数精鋭のスタッフで少数精鋭のゲームを作る

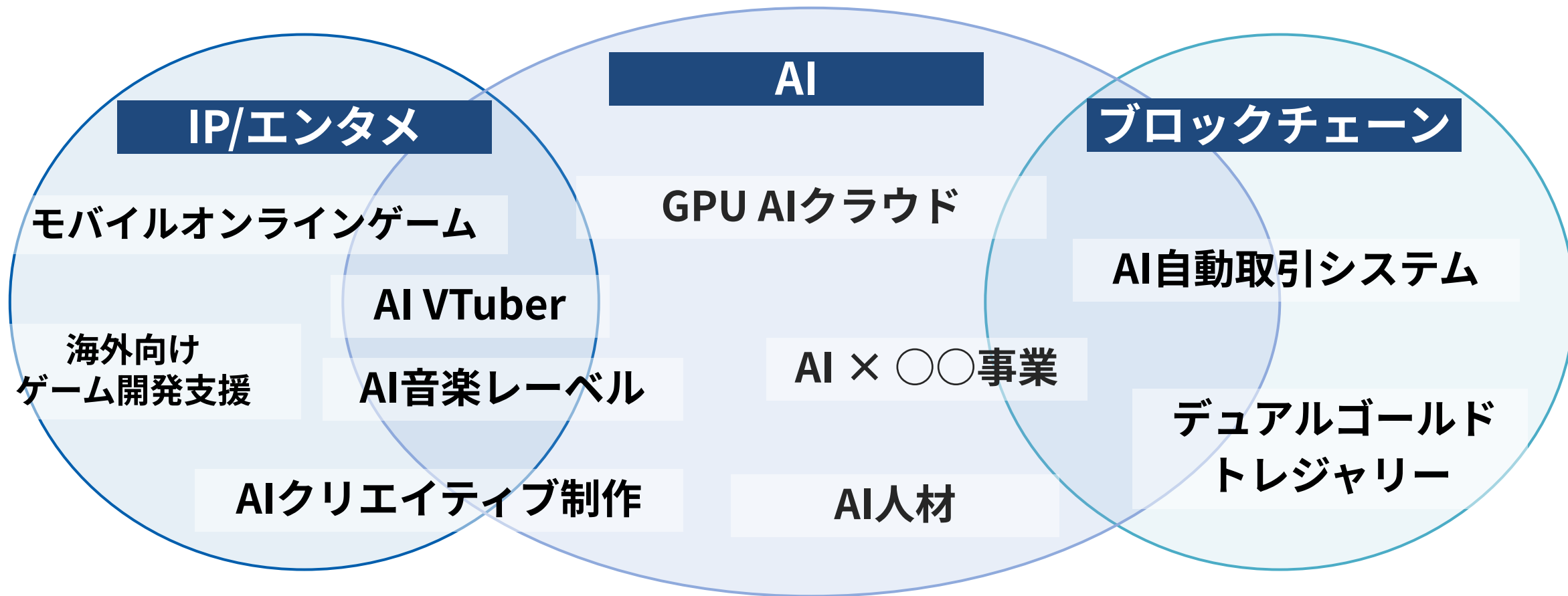


協業・共同開発

開発リスクを分散しつつ収益を確保する体制へ

経営の多角化

ゲーム単一事業による収益のボラティリティを抑制するため、経営の多角化を図る
多産多死戦略として、新規事業を継続的に複数投入していく



KLab AIエンタメ事業構想

B2Cコンテンツ事業 — 先行投資。優秀なクリエイターを集める

AI Vtuber事業
ゆめかいる

AI音楽事業

AIアニメ・映画事業



KLab AI Creators Guild

集まったクリエイターを束ねる人材プール



B2B事業 — 人材を活用してマネタイズ

受託制作事業

人材事業

Dual Gold Treasuryと AI自動取引システムについて

Dual Gold TreasuryのアップデートとAIトレードの開始

現在

それぞれ独立したプロジェクト

Dual Gold Treasury

- ✓ 長期保有
- ✓ トレードを行わない
- ✓ 年1回程度のリバランス
- ✓ ワラント行使時期の偏りによる、購入時期の偏り
- ✓ 長期的視野で資産増大に寄与するが、短期的に価格下落の局面もある

AIトレード (テスト中)



もう間もなく！

AIトレード運用開始

- ✓ 今後ともGOLDの保有・購入は継続
- ✓ Dual Gold Treasury に割当てたBTC及び今後の余剰資金の一部を、AIトレードに割当

長期保有型（Mamba-Longモデル）のバックテスト結果

長期保有型AIモデル / 4年間バックテスト

投資回収率

+857.6%

上昇局面での**収益獲得**と、下落局面での**リスク抑制**を両立

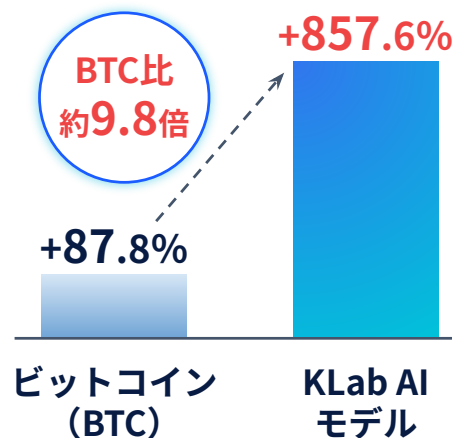
📄 検証条件

- 対象資産：ビットコイン
- 初期投資：100,000 USD
- 検証期間：22/1/1~25/12/31
- 取引方法：買いのみ（ロング）
- レバレッジ：1倍
- 取引回数：59回（34勝25敗）
- 手数料：0.05% / 回

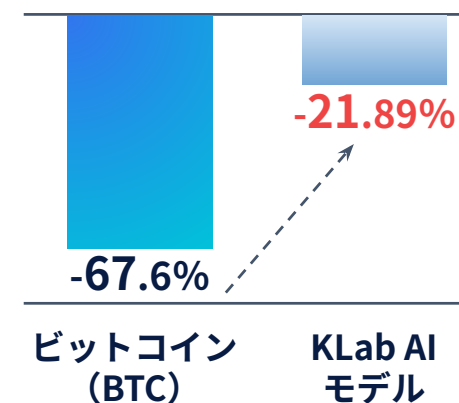
AIモデルとビットコインの比較

(2022/1/1~2025/12/31)

投資回収率



最大下落率



今後は、短期売買型と長期保有型の統合により、さらに安定性と収益性を兼ね備えたAI自動取引システムを目指す

AI自動取引システムの事業化ロードマップ



AI自動取引システムは、ゲーム事業に次ぐ「第2の収益の柱」の可能性

ご清聴ありがとうございました。

本資料は、決算情報及び今後の方針に関する情報の提供を目的とした資料であり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
本資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。
また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。